

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0024 堺市堺区向陵中町2丁5-10 杉本ビル5-B・Tel:(072)255-1200 番

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 PANTARON Tel:(072)228-3988 番 (魚太郎直通電話)

URL : <http://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

ガバナー(第2640地区) 辻 秀和(ツジ ヒデカズ)

ガバナー事務所 URL : <http://www.rid2640g.org/tsuji/>

E-mail : tsuji2014-d2640@ivy.ocn.ne.jp

会長: 山ノ内修一 幹事: 塩見 守 広報委員長: 坂田兼則 編集者: 中川 澄

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

本日の例会

2015年3月20日(金)第1654回

卓話 「ロータリーと私」

卓話者 徳田 稔 会員

今週の歌「堺北RCの歌」

「いい日旅立ち」

お客様の紹介

出席報告 会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○皆出席表彰(3月度)

笹山悦夫会員(第2回)

今週の歌

「いい日旅立ち」

雪解け間近の北の空に向い

過ぎ去りし日々の夢を叫ぶ時

帰らぬ人達 熱い胸をよぎる

せめて今日から一人きり 旅に出る

あゝ日本のどこかに

私を待ってる人がいる

いい日旅立ち 夕焼けをさがしに

母の背中で聞いた歌を道連れに……

次回の例会

2015年3月27日(金)第1655回

例会変更&春の親睦家族会

3月28日(土)・29日(日)

於いて、高知県

前回の例会

2015年3月13日(金)第1653回

例会場変更&夜間例会

「出羽海部屋」ちゃんこ会

同日 18:30~ 於: 祥雲寺

<3月13日(金)の出席報告>

会員数 32名

出席会員 20名

欠席会員 12名

ビジター 2名

ゲスト 1名

2月6日(金)の出席率 78.13%

2015年3月6日(金)第1652回

卓話 「百舌鳥・古市古墳群を

世界文化遺産に」

卓話者 堺市主幹 上田一也様

紹介者 社会奉仕委員長 中田 学

今週の歌「君が代」「奉仕の理想」

「バースディソング」

お客様の紹介

出席報告 会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○会員・奥様誕生祝い(3月度)

北側 一雄 会員(2日) 藤永 華恵 様(17日)

○結婚記念祝い(3月度)

藤永 誉 会員(17日) 徳田 稔 会員(27日)

澤井 久和 会員(27日)

<2月27日(金)の出席報告>

会員数 32名

出席会員 21名

欠席会員 11名

ビジター 0名

ゲスト 1名

1月30日(金)の出席率 84.38%



2014-15年度 国際ロータリーのテーマ

「ロータリーに輝きを」

Light Up Rotary

国際ロータリー会長 ゲイリーC.K.ホアン(台湾・台北RC)

卓 話

「百舌鳥・古市古墳群を世界文化遺産に」

堺市世界文化遺産推進室主幹 上田 一也 様

紹介者 中田 学 会員



1. 世界遺産とは

世界遺産の制度が生まれたのは1972年（昭和47年）で、この年に世界遺産条約が制定された。日本が世界遺産条約に批准したのは更にその20年後の1992年（平成4年）であり、日本における世界遺産の歴史はまだ23年しかない。世界遺産は、文化遺産、自然遺産、複合遺産の3種類あり、平成26年現在、世界遺産は1007件となった。日本にある世界遺産は文化遺産14件、自然遺産4件で合計18件で、近畿2府4県には世界遺産が5件あるが、大阪府にのみ世界遺産がない。そこで我々は「世界遺産を大阪に」を合言葉に取り組みを進めている。

2. 登録に向けた取り組み状況

百舌鳥・古市古墳群は平成22年に世界遺産暫定一覧表に記載され、翌年には大阪府、羽曳野市、藤井寺市とともに百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議を設置した。4自治体一丸となった取り組みを進める中で、一昨年（平成25年）登録推薦書原案を国に提出。このときは国内推薦見送りとなったが、課題であった緩衝地帯の保全については、その後、種々議論を重ね、昨年（平成26年）4月には登録推進本部会議において緩衝地帯における制限内容等の方針を決定した。その後、市民の皆様方を対象に説明会を開催し、各種審議会において審議いただき、今後も説明会、パブリックコメント、審議会の諮問・答申を経て、「堺市景観計画の変更」について議会に報告するとともに、景観条例、屋外広告物条例の一部改正を行いたいと考えている。このことにより、課題とされた緩衝地帯の保全についてはクリアできるものと考えている。百舌鳥・古市古墳群は平成29年の世界文化遺産登録をめざしているが、そのためには今年、平成27年に国内推薦を受ける必要がある。国内推薦を得ると、9月末までに暫定版の推薦書を、来年2月1日までに本推薦書（英語版）をユネスコ世界遺産センターへ提出することとなる。その後、ユネスコの諮問機関であるイコモス（国際記念物遺跡会議）による現地調査などが行われ、平成29年6月に開催される第41回世界遺産委員会で登録の可否が決定されることとなる。

世界遺産登録に向けては、国際シンポジウムや講演会、写真コンテストを開催したり、PR映像、ウォーキングマップを作成したり、様々な機運醸成事業を行っている。また、堺北ロータリークラブの皆さんも参加されている「仁徳陵をまもり隊」など市民ボランティアの皆さんによる古墳周辺の美化活動なども行われており、皆で古墳を守っていきましょうという取り組みも行われている。

昨年3月、堺市博物館内にオープンした百舌鳥古墳群シアターでは約200インチの大画面でバーチャルリアリティ映像を上映しており、2月15日現在で約4万2千人の方に来場いただいている。

最後に「百舌鳥・古市古墳群」が世界遺産登録される意義であるが、ひとつめは貴重

な文化遺産を将来にわたって守り伝えるということである。ふたつ目は「世界遺産のある街」として、人々が住みやすい、訪れやすい街にしていくということであり、街の美しい景観や環境というのは住みやすい街につながるものと考えている。三つ目は人々が街に対して誇りと愛着を持てるということ。そして最後に百舌鳥・古市古墳群の価値が世界へ発信されることにより、堺の街のすばらしさを世界の人々に知っていただくことができる、このことが街の魅力向上につながるものと考えている。世界遺産登録は決してゴールではない。登録に向けた取り組みを通して百舌鳥・古市古墳群を確実に保存・継承するとともに都市の魅力向上をめざしていきたいと考えている。

会長の時間 (3.6)

「河津桜を見てきました」

会長 山ノ内修一



先週の田中さんの卓話はおもしろかったですね。飄々と自然体で話され、しかもおもしろい

ろい・・・上品な落語を聞いているような感じでした。

「お金持ちになるには・・・」というくだりで、「収入の2割を貯金すること」とおっしゃっていました。もっと早くに聞いておけば良かったと思っています。

それで思い出したエピソードがあります。「堺トラムの試乗会（2月26日）」で、我孫子道駅から乗車して浜寺公園駅で10分ほど休憩したときのこと。自販機の前で新井さんが「この缶コーヒー130円・・・高いな」とつぶやいて、道の向こう側の別の自販機を見に行つてすぐに戻り「向こうも一緒や」と結局最初の自販機でコーヒーを買われました。

田中さんにしても新井さんにしても「お金持ちは違うな・・・」と思ったしだいです。

ところで先日の日曜日、雨の中、家内と二人で大仙公園の「河津桜」を見てきました。ソメイヨシノより1ヶ月ほど早く咲くと聞いていましたが、まだ「2分咲き」という感じでした。30周年の記念事業で植えた河津桜です。あれから4年以上経ちましたが、木というのはさほど早く大きくはならないものですね。でもこうして毎年見に来るのも楽しみです。

子どもの成長を見る感じに似て・・・。

もう少し暖かくなると一気に開花するでしょう。浜寺公園の桜のつぼみもだいぶ膨らんできています。春です！心も体もウキウキ、ワクワクする季節。はしゃぎ過ぎぬよう自重しなくちゃと思っています。

会長の時間 (3.13)

「欠席ですみません。」

会長 山ノ内修一

皆さん、こんばんは！折角の「チャンコを囲んで」の例会に出席できず申し訳ありません。どうでもはげせない用事で、この時間は「高知」に着いたころでしょう。

今夜は、大いに食べて、大いに飲んで、大いに語らって、「仲良く、楽しく」過ごして下さい。

徳田委員長はじめ親睦委員会の皆様には何かとお手数お掛けしますが、よろしくお願い申し上げます。

出羽海部屋には今場所、東洋大学から「御岳海（大道久司さん）」が鳴り物入りで入門され大きな期待を集めています。今後の活躍がすごく楽しみです。最後に、本日ご出席の皆様のご健勝と、出羽の海部屋の力士の皆さんのご活躍を心より祈念して、はなはだ簡単楚辞ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

会長の時間 (3.13)

社会奉仕委員会

「2月度ダメ・ゼッタイ募金」報告

社会奉仕委員長 中田 学

今年度7回目の「ダメ・ゼッタイ募金」を2月27日の例会で行いました。今回は木畑S A A会員の御好意により沖縄と鹿児島旅行の御土産、ウコンと焼酎のミニチャビンを提供していただきました。皆様の御協力に感謝致します。



「仁徳天皇陵清掃活動」に参加

社会奉仕委員長 中田 学

平成27年3月8日(日) (仁徳陵をまもり隊と合同第19回) 26年度第2回「仁徳天皇陵清掃活動」を実施。

昨日までの大雨も上がり肌寒い天候のもと9時30分より挨拶、説明があり各団体による清掃活動が開始されました。

例年通り堺北RCは正面部分遊歩道約650Mの受け持ちです。皆さん慣れたもので役割分担を決めなくても一斉に各場所に移動して掃除をされています。今回はガールスカウトの子ども達は、行事等で参加できませんでした。約1時間30分余り清掃活動を行いました。閉会后大仙公園に植樹した河津桜の花見に行ってきました。(ほぼ満開に近いですよ。)

参加していただいた皆様有難うございました。

参加者 会員15名 会員家族ファミリー会員8名 合計23名 全参加者エントリーが350名だそうです。



平成27年3月8日(日)「仁徳天皇陵清掃活動」にて

「清心寮の子ども達を出羽海部屋の朝稽古見学に招待」

社会奉仕委員長 中田 学

3月15日(日)子ども達9名、先生1名が9時前より朝稽古を見学しました。
稽古場では、静かに見学をするように注意をしてから入場したのですが、お相撲さんのすごい迫力に圧倒され声も出ないようでした。
一緒に写真を撮ってもらい10時30分よりチャンコ鍋を囲んでの食事です。力士にチャンコを入れてもらい7杯もおかわりする子どももいました。
最後、力士にお礼を言ってお別れです。子ども達は本当に喜んでいました。
少しの時間でしたが、私達も子ども達の笑顔を見ると元気をもらいます。
参加者 山ノ内会長・宇瀬・坂田・中田各会員

親睦活動委員会

「例会変更及び出羽海部屋ちゃんこ会」開催のご報告

親睦活動委員長 徳田 稔



恒例となりました出羽海部屋ちゃんこ会、今年もたくさんの会員・ご家族・ご友人のみなさんにお集まり頂き、楽しい会となりました。

出羽海部屋師匠のご挨拶を頂いた後、堀畑会員の乾杯により親睦会が開催されました。今年は新たに入門された力士も加わり、活気ある出羽海部屋のみなさんと楽しい会話が弾んだことだと思います。

この会を開催するにあたり、那須会員には大変お世話になり有難うございました。

会員 20名 奥様4名 御家族 5名 ご友人 11名 事務局 3名 計 43名



S A A 報告 (3.6)

城岡陽志会員 4月5日、サキドリという番組に出ます。朝8時頃です。NHKです。
後頭部は写すなど厳命しています。

山ノ内修一会員 上田さん、ようこそお越し下さいました。今日は、卓話よろしくお願
いします。

嶽盛和三会員 上田様、卓話ありがとうございます。先週欠席すみません。

中田 学会員 上田主幹本日の卓話宜しく申し上げます。
米澤邦明会員 大仙公園の河津桜がそろそろ色付き始めました。写真を持って来ようと思いましたが、各自足をはこんで見に行ってくださいな。
藤永 誉会員 結婚祝いをいただきありがとうございます。10回目の記念日ですが、長男は今年11才になります。

計 17,000円

幹事報告(3.6)

(1)配布物 ・週報 ・卓話資料
・堺北ロータリー・クラブ細則
平成27年2月6日 改訂版

(2) 2014-2015年度2640地区RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)コースのご案内

3月8日(日)に開催致しましたRLIコースパートIには多数ご参加頂きありがとうございます。今年度、パートIにご出席いただけなかった皆様も、パートIIからでもご参加していただけます。また、今年度全コースに、ご出席いただけなくても、今後2640地区、他地区で受講していただくことも可能です。会員の皆さま多数のご参加を心よりお待ちしております。

- 2640地区RLIコース開催日程
 - パートII 2015年4月12日(日)
 - パートIII 2015年5月17日(日)
- 受付登録 9:30~
 - 会議 10:00~17:00
 - 会場 りんくう国際物流センター
 - 登録料 2,000円 当日徴収(昼食付き)
 - テキスト 1,000円 当日販売
 - 持ち物 手続要覧 テキスト

(3) 2015年ロータリー国際大会のお誘い

2015年ロータリー国際大会がブラジルのサンパウロにて2015年6月6日から9日まで開催されます。3月31日までにRIへご登録いただくと、早期登録として割引料金が適応されます。

《 サンパウロ国際大会について 》

◇専用サイト<http://www.riconvention.org/ja/2015/Pages/ridefault.aspx>

*推進用パンフレット、登録およびチケット申込用紙ご要りの方は、事務局までお申し出ください。

その他

第9回 定例理事会

2014-2015年度理事会構成メンバー

山ノ内、坂田、塩見、木畑、池田、徳田、宇瀬、中田、嶽盛、城岡、中川、藤永、
笹山

(計13名中10名参加で理事会成立)

日 時 2014年1月16日(金) 例会後

場 所 「PANTARON」 会議室

議 案

1. 地区正常化委員会からの連絡

PETSでの地区予算承認を認めない方向で次年度も地区正常化委員会を堺北RCは継続していく 一承認

2. 米山奨学生受け入れの件

小西会員を世話人として、堺北RCは受け入れる 一承認

3. その他

①次年度委員会・活動について

- ・2015-2016年度理事役員・委員会委員(案) 一承認
- ・会計については池田会員に一任する 一承認
- ・鹿児島北RCと友好関係を持つ方向で活動する 一承認

リベリア エボラ収束後も続く闘い

エボラ出血熱の大流行により、犠牲者が3,600人を超えたりベリア。この数カ月で新規感染数は減少し、11月には政府が非常事態を解除しました。しかし、エボラの流行を完全に食い止めるには、なすべきことがまだ多く残されています。

リベリアの首都モンロビアで最初のエボラ出血熱の感染者が確認されたのは、昨年6月。感染性も死亡率も高いエボラの拡大を、限られた医療システムしかないこの国で抑えられるのか。この懸念は的中し、感染者数は倍増、都市部でのエボラ拡大のすさまじさを物語ることとなりました。エボラが大都市を脅かしたのは、昨年3月の西アフリカが最後でした。

「エボラ感染の広がりをどうすることもできなかった」モンロビア・ロータリークラブ会員、デビッド・フランクフォートさんはこう語ります。「ここでは、エボラ出血熱に対応できる十分な研修を受けた医療従事者も、適切な医療設備も不足していました」

感染拡大を食い止めるために直ちに活動を開始したモンロビアのクラブは、10月までに非接触の赤外線体温計200個、検査手袋1万枚、手洗い用の注ぎ口付プラスチックバケツ100個、医療従事者用のゴム長靴120組、マットレス80台、エボラ対応用車両の無料ガソリン券、学校閉鎖のために自宅に待機している子どもへの本を寄贈しました。

会員53人のこのクラブは、エボラ患者、医療従事者、支援スタッフへの現地でのサポートを充実させるために、保健・社会福祉省と直接協力しています。「感染者が出始めたとき、救援が来るのをただ待つのではなく、自分たちで緊急行動計画を立てました」とフランクフォートさん。「このような緊急時にこそ地域社会の役に立っているのがロータリークラブだと、身をもって示す使命感を感じました」

モンロビアのロータリークラブ(ロータリーが提唱する若者の奉仕クラブ)も協力し、エボラ感染の予防方法や家庭での対策についての認識向上を目指した戸別訪問キャンペーンを実施。この取り組みは、リベリア看護師協会が後援しました。さらに、世界中の多くのクラブからも支援が寄せられ、中でも英国のマーロウ・ロータリークラブからは113,000ドル以上の寄付が寄せられました。

感染減少も、対応の手を緩めず

世界保健機関(WHO)によると、最も深刻な打撃を受けたりベリア、シエラレオネ、ギニアの3カ国での死者数は8,620人以上。エボラ出血熱は、血液や体液との接触によって感染し、嘔吐、下痢、体内出血といった症状を引き起こします。現在、有効な治療方法はありませぬ。

何カ月にもわたる緊急対応の結果、新たな感染者数は減りつつあります。

しかし、モンロビア・ロータリークラブの会員で、保健大臣のシニアアドバイザーを務めるウィリアム・マーティンさんは次のように話します。「一番の懸念は、国境付近の貧しい地域で越境者が絶えないことです。リベリア国内で感染をなくすだけでは十分ではありません。政府は、いつ起こるかかわからない感染に備えて万全な態勢を整える必要があります」

今年創立50周年を迎えるモンロビアのクラブは、エボラと闘う活動を続けていく決意を固めています。

マーティンさんは「これまでの活動の成果を誇りに思う」としつつも、「しかし、ここで引き下がるわけにはいきません」と話します。クラブは、エボラで親を亡くした孤児のための養護施設に8万ドルを寄付するほか、

リベリア最大の病院であるジョンF.ケネディ・メディカルセンターに感染者治療用の酸素濃縮器を寄贈し、保健と社会福祉の分野の奨学金を提供するなど、モンロビアでの長期的な支援に向けた活動を計画しています。

人口440万人のリベリアでは、300人以上の医療従事者がエボラ熱に感染し、うち178人が死亡。エボラ流行前ですえ10万人に一人しか医師がいなかったことを考えれば、今回のエボラの流行がこの国にいかにも深刻な打撃を与えたかがわかります。ちなみに、WHOが推奨する医師の数は最低600人に一人とされています。

クラブの活動が緊急の救援から長期的な支援へと移行する中で、会員らは、政府の手が届かないところで支援活動を続けていきたいと考えています。「地域社会での支援と認識向上が中心となるでしょう。人びとがエボラ出血熱について正しい知識を持つことが大切です。流行が再び起これば、この国への打撃はより一層悲惨なものとなるでしょう」

記事: Ryan Hyland ロータリーニュース9-Mar-2015

